

年度	期	助成区分	No.	テーマ	グループ名／申請者名	代表者名 ／推薦者名	助成額 (万円)
1990	1	国内助成	1	海産巻貝類を指標種とする有機スズ汚染の影響実態調査	有機スズ問題研究会	水口 憲哉	131.0
			2	ゼニガタアザラシの保護管理に関する調査・研究	ゼニガタアザラシ研究グループ	小倉 聡子	236.0
			3	石垣島サンゴ礁の保全管理研究	サンゴ礁環境研究グループ	目崎 茂和	212.3
			4	嗜好性植物の給餌が植林地のシカの生態に与える影響	丹沢のシカ問題連絡会	大沢 洋一郎	115.3
			5	社会化された自然における野生生物像づくりの研究	野生生物保全論研究会自然像部会	本谷 勲	21.6
			6	屋久島での野生生物管理(とくにヤクザル)のための基礎的調査・研究	屋久島研究グループ	東 滋	116.6
			7	玉原高原「自然観察ガイドマップ」の発行	利根沼田自然を愛する会	小林 敏夫	55.0
			8	大雪山国立公園の自然環境の保全と管理に関する基礎的研究	大雪山プロジェクト	小野 有五	180.2
			9	(継続)尾瀬の保護と適正利用のための指導と案内	尾瀬ガイドグループ	児玉 芳郎	119.0
			10	全国イヌワシ生息数・繁殖成功率調査	日本イヌワシ研究会	山崎 亨	80.0
			11	欧米を中心としたエコロジカルパーク等の自然回復事業に関する事例研究	エコロジカル・パーク研究グループ	阿部 治	40.0
		海外助成	1	東カリマンタン熱帯林生態系研究	Ach. Ariffien BRATAWINATA	石川 達芳	175.5
			2	砂地上における飼料植物の栽培研究	Rajbhandary Saman Bahadur	遠藤 宗男	142.5
1991	研究		1	亜高山帯・高山帯におけるニホンカモシカ・ニホンザルの生態研究	高山帯大型哺乳動物研究グループ	千葉 彬司	187.9
			2	(継続)給餌が植林地のシカの生態に与える影響	丹沢のシカ問題連絡会	大沢 洋一郎	291.5
			3	ニホンザルの現況－1991	ニホンザルの保護管理研究グループ	小金沢 正昭	197.0
	自由課題		1	北限のホンシュウジカと人間との共存のための保護教育活動	五葉山シカ研究グループ	高槻 成紀	43.8
			2	(継続)尾瀬の保護と適正利用のための指導と案内	尾瀬ガイドグループ	児玉 芳郎	161.0
			3	森林性大型猛禽、クマタカの保護プログラムの確立と実践	クマタカ生態研究グループ	山崎 亨	200.0
			4	湧水域を中心に生息する淡水生物の生態学的研究	東海淡水生物研究会	森 誠一	200.0
			5	霞堤と遊水地生態系保全のための調査研究	霞堤グループ	市野 和夫	35.4
			6	(継続)欧米を中心としたエコロジカルパーク等の自然回復事業に関する事例研究	エコロジカル・パーク研究グループ	阿部 治	200.0
			7	(継続)海産巻貝類を指標種とする有機スズ規制の追跡調査	有機スズ問題研究会	水口 憲哉	139.0
	海外助成		1	泰嶺山脈の生態系の保護に関する研究－日本の科学者との共同研究－	馬乃禧	沼田 眞	219.7
			2	タイにおけるマングローブ林の再生プログラム	Jitt Kongsangchai	荻野 和彦	141.7
			3	アフリカゾウ保護プロジェクトに活用する車両等の確保	Perez M. Olindo	小原 秀雄	467.0
4			熱帯雨林のダイナミクスに関する研究	Carlos Arturo Mejia	伊沢 紘生	100.3	
5			東アジア常緑広葉樹林の共同比較研究と保護区ネットワークづくり	韓 也良	大沢 雅彦	103.0	
6			ザイル・タンガニーカ湖西岸の生物的多様性とその保護に関する研究	Masta Mukwaya GASHAGAZA	川那部 浩哉	274.7	
その他助成		1	「男鹿の自然」の刊行	男鹿の自然と文化の会	高山 泰彦	61.0	
		2	「岩菅山の自然観察」の作成	青木 正彦	青木 正彦	120.0	
緊急助成		1	隣接生息するクマタカの同時テレメトリー記録による社会行動・行動圏構造・個体群構造調査	クマタカ生態研究グループ	山崎 亨	52.0	

年度	期	助成区分	No.	テーマ	グループ名／申請者名	代表者名 ／推薦者名	助成額 (万円)
1992	3	重点課題	1	小櫃川河口干潟のガイドブックの作成	干潟まつり実行委員会	藤平 量郎	113.0
			2	サンゴ礁干潟の環境変化と保全	サンゴ礁環境研究グループ	山内 秀夫	182.0
			3	干潟の底質改善－「よみがえれ新浜」計画の一環として	NPO法人 行徳野鳥観察舎友の会	田久保 晴孝	160.0
			4	有明海とその流入河川におけるヤマノカミの生態学的研究	ヤマノカミ研究会	木村 清朗	158.0
		自由課題	1	(継続)霞堤と遊水地生態系保全のための調査研究	霞堤グループ	市野 和夫	52.0
			2	(継続)ガイドブック「五葉山のシカと自然」の出版	五葉山シカ研究グループ	高槻 成紀	75.0
			3	(継続)森林性大型猛禽、クマタカの保護プログラムの確立と実践	日本イヌワシ研究会 クマタカ生態研究グループ	山崎 亨	65.0
			4	(継続)給餌が植林地のシカの生態に与える影響	丹沢のシカ問題連絡会	大沢 洋一郎	225.0
			5	(継続)亜高山帯・高山帯における大型哺乳動物の生態研究	高山帯大型哺乳動物研究グループ	千葉 彬司	188.0
			6	ゼニガタアザラシの生態調査と保護管理運動の促進	ゼニガタアザラシ研究グループ	赤石 朋子	185.0
			7	長良川における汽水性生物の分布と塩水遡上	長良川下流域生物相調査団	山内 克典	102.0
			8	国際河川会議の開催	日本環境会議	淡路 剛久	245.0
			9	「海棲哺乳類と人間との関わり」研究集会	「海棲哺乳類と人間との関わり」 研究集会	内藤 靖彦	130.0
			10	天然林におけるニホンツキノワグマの生息可能密度	岐阜大学ツキノワグマ研究グループ	片山 敦司	87.0
			11	日本のブナ林の植物社会学体系の再構築	農工大ブナ林プロジェクト	福嶋 司	186.0
			12	石垣島最後の清流白水川の環境保全	白水の自然を考える会	島村 修	60.0
			13	夕張岳・高山植生の保護と適正利用のための活動	ユウパリコザクラの会	三浦 眞也	82.0
			14	日本の地形レッドデータブックの作成と日本の自然を代表する地形の選定	日本の地形レッドデータブック 作成委員会	小泉 武栄	161.0
		海外助成	1	(継続)タイ国マングローブ再生計画	Jitt Kongsangchai	荻野 和彦	231.1
			2	バイカル湖(セレンガ川とそのデルタ)の流域環境についての生態化学的モニタリング	Albert Beim	林 進	176.6
			3	保護と管理からみたジャコウジカの生態行動に関する研究	盛 和林	三浦 慎悟	136.3

年度	期	助成区分	No.	テーマ	グループ名／申請者名	代表者名 ／推薦者名	助成額 (万円)
1993	4	研究	1	コシガヤホシクサの保護増殖に関する研究	コシガヤホシクサ研究グループ	宮本 太	66.0
			2	コマンドルスキー諸島のオットセイの繁殖生態と保護管理	日本哺乳類学会海獣談話会	和田 一雄	195.0
			3	(継続)天然林におけるニホンツキノワグマの生息可能密度	岐阜大学ツキノワグマ研究グループ	溝口 紀泰	170.0
			4	ニホンザル生息隣接地における分布“不”拡大山地の特徴について	ニホンザル分布研究会	三戸 幸久	166.0
			5	小笠原諸島南島におけるカツオドリの繁殖状況調査	小笠原の自然を考える会	菅沼 弘行	86.0
			6	シマフクロウの生息環境の保全に関する研究	シマフクロウ研究グループ	小野 有五	129.0
			7	住民参加型手法によるホタル調査と水環境問題 ー琵琶湖周辺地域を対象にー	水と文化研究会	高谷 好一	130.0
			8	野生生物の保護に係わる国際条約の国内での具体化に関する研究	野生生物の保護に係る法体制検討会	磯崎 博司	134.0
			9	上高地梓川の河床地形変化とケショウヤナギ群落の生態学的研究	上高地自然史研究会	島津 弘	177.0
			10	御蔵島原生自然域の植生学的研究	御蔵島自然研究グループ	星野 義延	164.0
			11	(継続)サンゴ礁干潟の環境変化と保全	サンゴ礁環境研究グループ	山内 秀夫	221.0
	活動	1	住民の利用を目的としたデータベース「山梨県自然財産目録 (富士川水系:底生生物編)」の作成	地域自然財産保全調査事務所	篠田 授樹	71.0	
		2	丹沢国定公園の“ゴミマップ”作成	自然公園保全グループ	志沢 道子	160.0	
	海外助成	1	(継続)バイカル湖の流域環境についての生態化学的モニタリング	Albert Beim	林 進	157.0	
		2	中国マカカ属の分布個体群動態と保護管理	熊 成培	和田 一雄	145.0	
		3	農村開発及び森林資源の保全に果たす多目的樹種の役割	Gregory Odigie	増田 美砂	129.0	
		4	(継続)タイ国マングローブ修復計画	Jitt Kongsangchai	荻野 和彦	228.0	
		5	アマゾン地域の牧場荒廃地再生を目的とした原産有用樹と 牧草地の組み合わせシステムに関する研究	Kazumi Watanabe	谷山 鉄郎	172.0	
1994	5	研究	1	(継続)コシガヤホシクサの保護増殖に関する研究	コシガヤホシクサ研究グループ	宮本 太	55.0
			2	(継続)シマフクロウの生息環境の保全に関する研究	シマフクロウ研究グループ	小野 有五	143.0
			3	(継続)御蔵島原生自然植生域の生態学的研究	御蔵島自然研究グループ	星野 義延	130.0
			4	能取湖アッケシソウ群落の保全と地域経済の寄与に関する 調査研究	グローバル塩性湿地研究会	加藤 茂	130.0
			5	(継続)野生生物の保護に係わる国際条約の具体化に関する研究	野生生物の保護に係る法体制検討会	磯崎 博司	85.0
			6	神津島及び新島における食物連鎖構造の解明と移入動物の影響	島嶼生態系研究会	長谷川 雅美	130.0
			7	奥日光におけるニホンジカの植生に及ぼす影響と生態系の 保護管理	奥日光シカ研究グループ	小金沢 正昭	120.0
			8	半野生ジカの給餌の影響とホームレンジ利用に関する研究	金華山島シカ行動研究グループ	高槻 成紀	100.0
			9	日本国内におけるカメ類の分布および生息状況	日本カメ類研究会	矢部 隆	120.0
	活動	1	希少ウミスズメ類の現状と保護	日本ウミスズメ類研究会	青山 莞爾	200.0	
		2	穴塚大池自然環境総合報告書の作成	穴塚の自然と歴史の会	森本 信生	104.0	
		3	サハリンにおける野鳥保護思想の普及	極東鳥類研究会	藤巻 裕蔵	107.0	
		4	岩木山の景観と生物相の保全のための自然保護活動	岩木山を考える会	正木 進三	60.0	
		5	名古屋近郊の里山(海上の森)を守るための調査および 資料集の作成ー県立自然史博物館の森構想の提案に向けてー	ものみ山自然観察会	曾我部 行子	69.0	
	海外助成	1	ジャコウジカの保護管理のための生態と行動に関する研究	盛 和林	三浦 慎悟	108.0	
		2	タンガニーカ湖の生物多様性とその保護	Masta Mukwaya GASHAGAZA	川那部 浩哉	187.0	
		3	(継続)バイカル湖、セレンガ川及びセレンガデルタ環境の生態 化学的モニタリングー生物相保全の視点にたつて	Albert Beim	林 進	128.0	
		4	キナバル山域の蛇紋岩植生の調査	Lamri Ali	北山 兼弘	224.0	

年度	期	助成区分	No.	テーマ	グループ名／申請者名	代表者名 ／推薦者名	助成額 (万円)
1995	6	研究	1	チョウセンイタチ侵出地域におけるニホンイタチの生息分布とその保全に関する研究	紀伊半島野生動物研究会	青井 俊樹	120.0
			2	日本の湖沼に於ける車軸藻類の分布の現状調査と絶滅危惧種の系統保存株の確立	日本産車軸藻類調査研究グループ	野崎 久義	100.0
			3	(継続)野生生物の保護に係わる国際条約の具体化に関する研究	野生生物の保護に係わる 法体制検討会	磯崎 博司	110.0
			4	(継続)コシガヤホシクサの保護増殖に関する研究	コシガヤホシクサ研究グループ	宮本 太	50.0
			5	知床国立公園におけるヒグマの生息地保護管理のための研究	知床ヒグマ研究グループ	村上 隆広	100.0
			6	キリクチ(イワナ)の生息環境・保護に関する研究	淡水生物研究会	名越 誠	70.0
			7	北太平洋における海洋哺乳類(鯨類およびラッコ)の死亡要因の解明	日本哺乳類学会海獣談話会	大泰司 紀之	150.0
			8	金華山のシカが草地植生の種多様性と生産構造に与える影響	東北大学植物生態学研究グループ	広瀬 忠樹	80.0
			9	山形県朝日町ヌルマタ沢流域における自主環境影響調査	ヌルマタ沢流域の自然を考える会	倉持 武彦	80.0
	6	活動	1	(継続)希少ウミスズメ類の現状と保護	日本ウミスズメ類研究会	青山 莞爾	134.0
			2	屋久島自然保護のための自然保護教育プロジェクト	屋久島研究自然教育グループ	鈴木 滋	76.0
			3	新治村の猛禽類報告書の作成及び同地域の保護・利用の具体案の提言	新治村の自然を守る会	岡村 興太郎	85.0
			4	国際シンポジウム「ワイルドアニマルレスキュー4」記録集編纂	野生動物救護獣医師協会	野口 泰道	95.0
			5	「市民による里山保全」のためのリーダー養成と活動マニュアルの作成	(社)大阪自然環境保全協会	高田 直俊	90.0
			6	「北海道自然保護読本(暑寒別・天売焼尻の自然)の発行」	(社)北海道自然保護協会	俵 浩三	66.0
			7	大雪山国立公園における自然保護を目的とした環境プログラムの作成	北大自然保護研究会	渡辺 修	50.0
			8	藤前干潟の保護と干潟における環境教育の実践	藤前干潟を守る会	辻 淳夫	76.0
			9	シベリア森林破壊問題についての基本書の作成	日本環境保護国際交流会 シベリアプロジェクト	後藤 大介	90.0
	6	海外助成	1	タイ国におけるサイチョウ危急種2種の生態研究(タイ国)	Pilai Poonswad	山岸 哲	170.0
			2	行き詰っているジャイアントパンダの基本的生態系維持の回復	潘 文石	小林 達彦	150.0
3			カンチェンジュンガヒマール国立公園化を促進するための環境保全調査	Madhab P. Gautam	小野 有五	150.0	
4			内モン古自治区・賀蘭(Helan)における希少有蹄類(アカシカ、ヤマジャコウジカ、ブルーシープ)の生態学的特性と保全	盛 和林	三浦 慎悟	108.0	

年度	期	助成区分	No.	テーマ	グループ名／申請者名	代表者名 ／推薦者名	助成額 (万円)
1996	7	研究	1	「日本の地形レッドデータブック」第2集(中部日本編)の作成	日本の地形レッドデータブック 作成委員会	小泉 武栄	200.0
			2	イリオモテヤマネコ集団の保護をめざした遺伝子多様度の評価	哺乳類遺伝的多様性研究グループ	増田 隆一	140.0
			3	韓国におけるユーラシアカワウソの生態及び保護に関する研究	カワウソ研究グループ	安藤 元一	173.0
			4	中海本庄工区の種多様性に関する調査	汽水域研究グループ	國井 秀伸	115.0
			5	ひるがの湿原保護のための基礎研究	ひるがの湿原研究グループ	西村 由紀	110.0
			6	非破壊計測によるギフチョウ蛹期の野外における成虫形成の解明	天竜村ギフチョウ研究会	野牧 君夫	90.0
			7	半野生ジカの給餌が栄養と個体群動態に及ぼす影響	金華山島シカ研究グループ	高槻 成紀	100.0
			8	ザトウクジラの鳴音による個体識別と保全への貢献	大型鯨類生態保全研究会	加藤 由香	100.0
		活動	1	「マダガスカル鳥類フィールドガイド」の出版	マダガスカルの鳥研究会	ハジヤニリナ ラコトマナ	120.0
			2	伊豆大島でのウミガメの繁殖と漂着状況	みどりの地球大好き会	村上 博基	20.0
			3	中山間地域における人工湿原の観察と保護活動	水辺の未来を考える会	紙谷 智彦	70.0
			4	北海道自然保護読本(野付岬・風蓮湖の自然)の発行	(社)北海道自然保護協会	俵 浩三	70.0
			5	ナチュラリスト講座テキスト作成	(社)大阪自然環境保全協会	高田 直俊	45.0
			6	日本における「自然の権利」運動の記録(～1997.6)	[自然の権利]セミナー	佐久間 淳子	40.0
			7	車軸藻類の絶滅・絶滅危惧種の保護と自然界への復元に関する科学的調査と教育研究	車軸藻研究教育グループ	野崎 久義	100.0
		海外助成	1	中国泰嶺山脈の四川キンシコウの分布と生息地と保護戦略について	李 保国	小林 達彦	130.0
			2	中国安徽省における森林オオカミ保護のためのホームレンジ、パックサイズ、及びニッチェに関する研究	胡 小龍	丸山 直樹	150.0
			3	ウスリーにおけるシマフクロウの生息状況と保護のための対策に関する研究	Sergey Surmach	藤巻 裕蔵	96.9
			4	天童森林公園における植生復元及び保全管理に関する研究	宋 永昌	中村 幸人	120.0
			5	富栄養化し、濁度の高いハンガリー・バラトン湖における草食性甲殻類の捕食者としての機能の精確な評価	Laszlo G. Toth	加藤 憲二	110.0
			6	南アフリカ共和国西海岸におけるコシャチイルカの潜水行動・生活域・回遊について	Jeremy David	関口 圭子	100.0

年度	期	助成区分	No.	テーマ	グループ名／申請者名	代表者名 ／推薦者名	助成額 (万円)
1997	8	研究	1	(継続)イリオモテヤマネコ集団の保護をめざした遺伝子多様度の評価	哺乳類遺伝的多様性研究グループ	増田 隆一	120.0
			2	(継続)金華山島のシカ大量死後の個体数と栄養状態の回復過程	金華山島シカ研究グループ	高槻 成紀	110.0
			3	糞中ホルモン、酵素およびDNAを用いたエゾヒグマの個体識別の試み	エゾヒグマ研究グループ	高橋 芳幸	100.0
			4	沖縄ヤンバル亜熱帯林における林木種と種子・植食性動物の相互関係に関する研究	ヤンバル亜熱帯林研究グループ	久保田 康裕	150.0
			5	環境影響評価における遺伝的構造分析の試み ー愛知県瀬戸市海上地区のシデコブシを材料として	東海里山研究会	渡辺 幹男	110.0
			6	(継続)ひるがの湿原保護のための基礎研究	ひるがの湿原研究グループ	西村 由紀	100.0
			7	東中国山地におけるツキノワグマの生態調査	兵庫のけもの研究会	片山 敦司	80.0
			8	日本産ジュゴンの現状と保護	ジュゴン研究会	粕谷 俊雄	300.0
		活動	1	森林保全への市民参加と合意形成マニュアルの作成	環境保全への市民参加 パートナーシップ	木平 勇吉	120.0
			2	四国山地ツキノワグマ保全プログラム	徳島クマ研究会	谷口 右也	100.0
		海外助成	1	カムチャツカ半島と日本の中の鳥類の渡り解明 ー保護のための基礎的研究ー	Yuri Gerasimov	尾崎 清明	130.0
			2	ズグロカモメの生態学的研究	邱 英杰	山岸 哲	180.0
			3	中国四川省峨眉山における植物資源の持続的利用と保護	祝 正銀	大野 啓一	130.0
			4	中国南西地方のブナ林に関する植生学的研究	楊 良	福嶋 司	150.0
			5	スリランカの主要な国立公園における哺乳類及び鳥類についての生態学的研究	U.K.G.K. Padmalal	高槻 成紀	100.0
		緊急助成	1	伊豆大島の国立公園特別地域内の開発問題への緊急対応	みどりの地球大好き会 (三ツ磯プロジェクト)	村上 博基	30.0
			2	「海上の森」におけるギフチョウの食性に関する緊急調査	海上の森生物調査研究グループ	八田 耕吉	30.0
			3	川辺川周辺に生息するクマタカの生息状況について	熊本県クマタカ調査グループ	つる 詳子	20.0
			4	湘南谷戸シンポジウムの開催	アベトンフォーラム	田中 雅宏	30.0
			5	報告書「諫早干潟の再生と賢明な利用 ～国営諫早干潟事業の問題と代替案の提案」	諫早干潟緊急救済東京事務所	西田 研志	25.0
			6	自然の権利サミットの開催	[自然の権利]セミナー	佐久間 淳子	29.0

年度	期	助成区分	No.	テーマ	グループ名／申請者名	代表者名 ／推薦者名	助成額 (万円)
1998	9	研究	1	「緑の回廊評価」に関する研究－フクロウを事例として－	ワイルドライフハビタット機構	樋口 亜紀	150.0
			2	上高地における地形形成と地下水流動、植生動態に関する研究	上高地自然史研究会	島津 弘	113.0
			3	本州産クマゲラの繁殖期における行動圏調査及びその生態調査	本州産クマゲラ研究会	藤井 忠志	70.0
			4	(継続)日本産ジュゴンの現状と保護	ジュゴン研究会	粕谷 俊雄	200.0
			5	ハナノキ集団保護のための遺伝的多様性の評価と生息域外保存技術の開発	ハナノキ保護研究グループ	半田 孝俊	80.0
			6	糞分析によるエゾシカの越冬期における食性評価	道東エゾシカ研究グループ	北原 理作	60.0
			7	種子島のメヒルギ群落の現状とその保全に係わる調査研究	種子島のマングローブを守る会	小滝 一夫	110.0
			8	テレメリー調査による出水平野の越冬ツル類の生息場所利用	鹿児島県ツル研究会	塩谷 克典	100.0
			9	海上の森地域における生態学的研究 －特に地質・地形・土壌と植生について－	海上の森生態研究会の会	波田 善夫	130.0
			10	危機に瀕する屋久島の海岸部植生の生態学的調査とその保全	屋久島動植物友の会	岩川 文寛	100.0
		活動	1	中海本庄工区の種多様性に関する印刷物作成とその普及	汽水域研究グループ	國井 秀伸	66.0
			2	熱帯林保全のための環境教育プログラム開発	ボルネオ熱帯林生態研究会	武生 雅明	160.0
			3	市民参加による河川水質一斉観測事業	日本陸水学会東海支部 河川水質一斉観測事業実行委員会	八木 明彦	72.0
			4	吉野川における市民調査を基礎とする環境調査と公開プログラミングづくり	吉野川環境ネットワーク	石井 愷義	130.0
			5	2005年国際博覧会予定地「海上の森」の環境診断マップ作成	ものみ山自然観察会	曾我部 行子	40.0
			6	東北地方におけるニホンザルとその生息地の保全のためのパンフレットの製作	東北ニホンザルの会	伊沢 紘生	100.0
			7	生態系保全のための「河北潟」自然公園計画案の作成	河北潟湖沼研究所生物委員会	高橋 久	70.0
		海外助成	1	(継続)カムチャツカ半島と日本の間の鳥類の渡り解明 －保護のための基礎研究	Yuri Gerasimov	尾崎 清明	112.0
			2	アムール地方のコウノトリ保護	Yuri Darman	古賀 公也	134.0
			3	(継続)ズグロカモメの生態学的研究	邱 英杰	山岸 哲	100.0

年度	期	助成区分	No.	テーマ	グループ名／申請者名	代表者名 ／推薦者名	助成額 (万円)
1999	10	研究	1	下北半島に生息する北限のニホンザルの生息数および全分布域の緊急実態調査	下北野生ニホンザル研究グループ	伊沢 紘生	140.0
			2	尾瀬に侵入したシカが湿原植物群落におよぼす影響	尾瀬のシカ調査会	五十嵐 知行	67.0
			3	(継続)吉野川下流域における環境現況調査	吉野川環境ネットワーク	石井 愼義	82.0
			4	長良川河口堰によって失われた環境の仮想評価	長良川のCVMを実施する会	粕谷 志郎	38.0
			5	長野県における草本植物の生活史研究	長野県草本植物生活史研究プロジェクト	池田 登志男	50.0
			6	森林施業により劣化した森林生態系の生物多様性保全を目指した復元生態学的研究	森林生態系復元研究グループ	吉田 俊也	120.0
			7	金華山島のシカの高密度化による小型化と繁殖率の低下についての研究	金華山島シカ研究グループ	高槻 成紀	70.0
		活動	1	早池峰フォーラム開催	早池峰フォーラム実行委員会	多田 和広	43.0
			2	利根川の水と自然を守るプロジェクト	利根川の水と自然を守る 取手連絡会	近藤 欣子	40.0
			3	八方尾根の自然観察ガイド作成のための調査	自然観察指導員長野県連絡会	小川 朱実	50.0
			4	谷津干潟紹介リーフレット作成	千葉の干潟を守る会	大浜 清	75.0
			5	東中国山地ツキノワグマ個体群保全を目的とした「東中国クマ集会」の成果のまとめと普及活動	東中国クマ集会実行委員会	藤本 光博	63.0
			6	谷戸田に基層文化を探る	山崎の谷戸を愛する会	相川 明子	50.0
		海外助成	1	トキ野生化実験および追跡調査に関する研究	席 詠梅	河合 明宣	111.0
			2	ドイインタノン国立公園における植生帯構造の研究と研究成果の環境教育への応用	Pongsak Sahunalu	神崎 護	200.0
			3	ネパールシワリク山地の植生の生態学的研究	Dinesh Raj Bhuju	中村 俊彦	130.0
			4	インドネシア産鳥類及び哺乳類の遺伝子バンクの蓄積	Sri Sulandari	東 正剛	163.0
			5	(継続)カムチャッカ半島と日本間の鳥類の渡り解明ー保護のための普及啓蒙ー	Yuri Gerasimov	尾崎 清明	90.0
			6	ネパールの熱帯地域の昆虫相とその保護管理に関する調査研究	Keshab Shrestha	中池 敏之	90.0
			7	スラウェシ島に生息する希少鳥類セレベスクマタカ(<i>Spizaetus lanceolatus</i>)の個体数、分布、生息状況の現状に関する調査	Wahyu Raharjaningtrah	乾 由布子	120.0

年度	期	助成区分	No.	テーマ	グループ名／申請者名	代表者名 ／推薦者名	助成額 (万円)
2000	11	研究	1	屋久島に移入されたタヌキの定着化の過程	屋久島タヌキ緊急調査グループ	田川 日出夫	100.0
			2	房総丘陵におけるヒメコマツ個体群の緊急調査	房総のヒメコマツ研究グループ	藤平 量郎	90.0
			3	ダム堆砂排出が河川の一次生産者に及ぼす影響	天竜川ダム堆砂問題研究会	村上 哲生	90.0
			4	移入鳥類の野生化の実態	九州大学移入鳥類研究グループ	江口 和洋	110.0
			5	ロシアにおけるシマフクロウの生息環境調査と日本の保護への応用	日露シマフクロウ研究グループ	竹中 健	100.0
			6	南関東のコナラ二次林の変貌に関する植物社会学的研究	関東二次林研究グループ	星野 義延	65.0
			7	岩手五葉山のみ分布するゴヨウザンヨウラクの保全生物学的研究	ゴヨウザンヨウラクの 保護を考える会	牧 雅之	55.0
			8	十津川水系アマゴの集団構造の解析 (在来種アマゴの研究保護活動)	おんこりんかす	近藤 公乗	60.0
			9	長期モニタリングによる北方林成長動態の時系列変化の実態評価	森林動態研究グループ	久保田 康裕	50.0
		活動	1	葛飾区水元公園内のオオモノサシソボの調査と保護活動	みずもと自然観察クラブ	五十嵐 吉夫	60.0
			2	長野県南部のハナノキが生育する湿地の保全活動	はなのき友の会	北沢 あさ子	95.0
	3		ニッポンバラタナゴの保護	ニッポンバラタナゴ八尾研究会	加納 義彦	80.0	
	4		飯能県民休養地構想の推進、及び隣接開発予定地に対する 環境負荷の低減を求める活動	天覧山・多峯主山の自然を守る会	浅野 正敏	90.0	
	5		ホトケドジョウの育つ小川づくり	恩田の谷戸ファンクラブ	藤田 廣子	80.0	
	6		市民による環境影響評価チェック・モニタリングシステムの構築	三浦半島かんきょうフォーラム	田中 雅宏	80.0	
	7		名古屋東部丘陵地のトウキョウサンショウウオの生息調査	ネイチャークラブ東海	篠田 陽作	21.0	
	8		コウモリ観察会実施のためのガイドライン作成と観察会実施の 援助活動	コウモリの会	山本 輝正	55.0	
	9		箕面市小野原西地域の自然環境保全とまちづくり	みのお山自然の会	本多 孝	40.0	
	10		本州産クマガラの繁殖期における生態ビデオ作成	本州産クマガラ研究会	藤井 忠志	120.0	
	11		相模大堰訴訟ならびに相模大堰円卓会議の記録出版	相模川キャンプインシンポジウム	金尾 憲一	45.0	
	海外助成	1	インドネシア・イリアンジャヤ州ジャムルスバメディ地区における オサガメ産卵巣の野生ブタによる食害率を減少させる試み	Aki Yusuf	亀崎 直樹	153.0	
2		ネパール・アンナプルナ自然保護区における非木材生産物の 伝統的利用に関する研究	P. R. Shakya	土田 勝義	127.0		
3		シベリア・バイカル地域における哺乳類相のリスト作成およびその生物 多様性の評価に関する調査研究	Alexei Abramov	増田 隆一	131.0		
4		パキスタン、スワート地域の民俗植物とそれらの保護に関する 調査研究	Zabta Khan Shinwari	中池 敏之	110.0		
5		インドネシア西スマトラ州の熱帯多雨林内択伐林分における 主要樹種の生育特性に関する生態学的研究	Chairul Mahmud	米田 健	69.0		
6		インドネシアにおける河川生態系保全のための魚道設置と 魚類生息場の研究	Siti Salmah	中村 俊六	106.0		

年度	期	助成区分	No.	テーマ	グループ名／申請者名	代表者名 ／推薦者名	助成額 (万円)
2001	12	研究	1	在来マルハナバチ類保護のためのセイヨウオオマルハナバチの野生化状況の評価と駆除方法の開発	セイヨウオオマルハナバチ野生化問題研究グループ	横山 潤	100.0
			2	イリオモテヤマネコの生息地としての西表島山地部の評価調査	イリオモテヤマネコ研究グループ	伊澤 雅子	102.0
			3	沖縄島北東岸のサンゴ礁性貝類相の現状調査	ウルマ貝類調査グループ	黒住 耐二	88.0
			4	三峰川水系における帰化植物の生物学的侵入が生態系へ及ぼす影響	信大自然史研究会	大窪 久美子	80.0
			5	全国での堅果類の豊凶測定によるツキノワグマの出没予報システム構築の研究	日本ツキノワグマ研究所	米田 一彦	60.0
			6	川辺川流域三世代自然ふれあい緊急調査	川辺川流域自然ふれあい調査研究会	簗茂 寿太郎	70.0
			7	外来種カミツキガメの野生化とそれに関する研究	外来亀対策委員会	小林 頼太	94.0
			8	世界遺産春日山原始林と天然記念物ニホンジカの保全生態学的研究	春日山原始林研究グループ	前迫 ゆり	73.0
			9	生態的プロセスに着目して地域の生物多様性保全を考慮する森林管理ースギ人工林における生物間相互作用の復元ー	人工林生態系研究グループ	紙谷 智彦	100.0
		活動	1	馬毛島の自然と歴史:市民調査の成果を生かした報告書とガイドブックの作成・活用	馬毛島の自然を守る会	長野 広美	100.0
			2	佐渡島における陸封型(河川型)ヤマメ<i>Oncorhynchus masou masou</i>の増殖保護と遺伝子解析調査	NPO法人 溪流再生フォーラム	飯塚 友章	84.0
			3	藤岡のヤリタナゴ・マツカサガイの保護のためフォーラム開催とその成果の出版	ヤリタナゴ調査会	斎藤 裕也	80.0
			4	活動する市民によるワークショップと緊急レポート「市民参加と環境教育によるワイルドライフ・リハビリテーション&レストレーション」	ふくしまワイルドライフ市民フォーラム	溝口 俊夫	80.0
			5	小出川の環境保全と子供達への自然環境教育活動	小出川に親しむ会	丹沢 久子	50.0
			6	第14回日本の森と自然を守る全国集会in北海道の開催	第14回日本の森と自然を守る全国集会in北海道実行委員会	寺島 一男	100.0
			7	箕面北部開発地の市民参加環境調査と自然保護、地域づくり	箕面市北部の自然と開発を考える府民の会自然保護部会	本多 孝	40.0
			8	小笠原諸島におけるエコツーリズムの確立	小笠原ネイチャーフォーラム	有川 美紀子	40.0
		海外助成	1	東アジア遺存植物宝庫としての天目山(中国)における貴重な植物群落の保護生態学的研究	達 良俊	尾崎 煙雄	170.0
			2	中国海南島における稀少動物の分布とその歴史的変遷に関する研究	李 玉春	小金澤 正昭	98.0
			3	石門台省立自然保護区(中国)におけるチョウ類の生物多様性と保全に関する研究	王 敏	矢田 脩	140.0
4	スマトラ西部州(インドネシア)におけるアゲハチョウ類の生活史と生態		Dahelmi	中村 浩二	95.0		
5	インドネシア産哺乳類・鳥類のDNAバンク設立のための継続的努力		Sri Sulandari	東 正剛	184.0		

年度	期	助成区分	No.	テーマ	グループ名／申請者名	代表者名 ／推薦者名	助成額 (万円)
2002	13	研究	1	中部空港島周辺における底質・底生生物を中心とした水域環境変化に関する研究	空港島周辺海域環境研究会	西條 八束	100.0
			2	父島のオガサワラオオコウモリの保全生態学的研究	オガサワラオオコウモリ研究グループ	稲葉 慎	100.0
			3	北方四島(国後島)の生態系ー陸上動植物相調査ー	NPO法人 北の海の動物センター	大泰司 紀之	200.0
			4	えびの高原におけるシカの行動様式の変化についてー餌付けがシカに与える影響ー	えびのシカリサーチグループ	遠藤 晃	88.0
			5	(継続)在来マルハナバチ類保護のためのセイヨウオオマルハナバチの野生化状況の評価と駆除方法の開発	セイヨウオオマルハナバチ野生化問題研究グループ	横山 潤	85.0
			6	島原半島における淡水紅藻オキチモズクの保全と遺伝子解析	オキチモズク保全研究グループ	飯間 雅文	95.0
			7	世界最南限のイワナ個体群“キリクチ”の保全生態学的研究	淡水生物研究会	渡辺 勝敏	70.0
			8	イワメ(無斑型アマゴ)の生息環境と保護	西日本淡水魚類研究会	近藤 卓哉	80.0
			9	淡路島の農村地域のため池群における生物多様性保全に関する研究	淡路棚田研究会生物多様性研究グループ	一ノ瀬 友博	70.0
		1	東京湾の干潟を中心とする環境の保全	千葉の干潟を守る会	大浜 清	100.0	
		2	干潟を守る日2003in諫早	干潟を守る日2003in諫早実行委員会	山下 八千代	50.0	
		3	吉野川河口干潟周辺における「人と自然とのふれあい」をベースにした環境マップの作成	とくしま自然観察の会	井口 利枝子	75.0	
		4	日本における「自然の権利」運動の記録(～2002.12)	[自然の権利]セミナー	佐久間 淳子	100.0	
	5	エゾシカ猟用鉛弾を原因とするワシ類の鉛中毒に対する防止活動	市民団体 ワシ類鉛中毒ネットワーク	黒澤 信道	57.0		
	6	希少植物「カワラノギク」の保護・育成	はむら自然友の会	岡崎 学	14.0		
	7	霧ヶ峰の草原生態系と景観の保全のためのシンポジウム開催と報告書の作成・活用	霧ヶ峰ネットワーク	栗原 雅博	97.0		
	8	チゴハヤブサの調査保護と子供達への環境教育活動	札幌チゴハヤブサの会	工藤 忠行	44.0		
	9	大規模開発の迫った京阪奈丘陵の里山での市民による生き物調査の実施	生駒の自然を愛する会	琢磨 千恵子	20.0		
	10	市民版日高横断道路「時のアセス」の作成	「止めよう日高横断道路」全国連絡会常任委員会調査部	小島 望	65.0		
	海外助成	1	インドネシア・西ジャワ海及びナツナ海における絶滅に瀕したタイマイ繁殖個体群の現状の把握とその資源回復対策の確立	A. Yusuf	亀崎 直樹	119.0	
		2	(継続)中国海南島における野生哺乳類の保護区設定と保護システムの確立	李 玉春	小金澤 正昭	91.0	
		3	ネパールシワリク山地の生態学的研究:動的景相域における生物種維持管理	D. R. Bhujū	尾崎 煙雄	120.0	
		4	低地熱帯林の生態系指標としてのカワリクマタカ(<i>Spizaetus cirrhatus</i>)に関する調査ースンバワ島,コモド島,フロレス島に生息する亜種を対象としてー	W. Raharjaningtrah	乾 由布子	130.0	
		5	(継続)石門台(シメントイ)国立自然保護区におけるチョウ類のモニタリング	王 敏	矢田 脩	115.0	

年度	期	助成区分	No.	テーマ	グループ名／申請者名	代表者名 ／推薦者名	助成額 (万円)
2003	14	研究	1	南大東島に隔離分布するダイウコノハズク個体群の保全に関する研究	ダイウコノハズク 保全研究グループ	高木 昌興	123.0
			2	父島のオガサワラオオコウモリの保全生態学的研究(継続)	オガサワラオオコウモリ 研究グループ	稲葉 慎	83.0
			3	世界最南限のイワナ個体群”キリクチ”の保全生態学的研究(継続)	淡水生物研究会	渡辺 勝敏	80.0
			4	スキー場を集水域に持つ河川に見られる窒素汚染	長良川・溪流の保全を考える会	村上 哲生	80.0
			5	亀岡産アユモドキの生活史とハビタット利用に関する研究 ー水田水域生態系のシンボルフィッシュー	亀岡・人と自然研究会	岩田 明久	90.0
			6	屋久島原生自然環境保全地域におけるスギ林の20年間の森林動態	ヤクスギ原生林研究グループ	武生 雅明	80.0
			7	関東周辺のアシナガシメコトコノメ個体群の現状とフェノロジー比較	房総のアシナガシメコトコノメ研究グループ	尾崎 煙雄	90.0
			8	西表島浦内河口域の生物多様性と伝統的自然資源利用の総合調査	西表島浦内川流域研究会	松本 千枝子	100.0
			9	西表島における亜熱帯林の再生動態と種多様性保全に関する 基礎的研究	南西諸島亜熱帯林研究グループ	相場 慎一郎	53.0
			10	エゾシカの餌選択とミネラル要求性	道東エゾシカ研究グループ	北原 理作	85.0
			11	ツキノワグマ四国幡多地域個体群の生息状況把握	NPO法人 四国自然史科学研究センター	町田 吉彦	89.0
			12	金沢城公園における樹木伐採等の攪乱が動植物と生態系に 及ぼしつつある影響	金沢城公園生態系保全研究会	中村 浩二	100.0
			13	炭素・窒素安定同位体を用いたツキノワグマの「駆除」個体の生息環境 履歴の解明	信州ツキノワグマ研究会	林 秀剛	116.0
			活動	1	蒲生干潟の保全:「蒲生干潟の明日を考える集い」の開催と鳥類生息 調査報告書の出版	蒲生を守る会	佐場野 裕
	2	三浦半島(神奈川県)におけるトウキョウサンショウウオ遺伝子の 多様性の保護		三浦半島自然誌研究会	金田 正人	70.0	
	3	普天間飛行場代替施設(辺野古沖軍民共用空港)建設計画に係る 市民からの環境影響評価(アセスメント)		市民アセスなご	宮城 康博	110.0	
	4	宮崎県内におけるイヌワシ調査と保護活動		NPO法人ひむか里山自然塾	岩切 重人	100.0	
	5	絶滅危惧種ヒメイトトンボの生態学的研究と観察会による保全活動		自然史教育談話会	渡辺 守	100.0	
	6	かながわ野生化アライグマの分布調査と普及啓発パンフレットの作成		かながわ野生動物サポートネットワーク アライグマ・プロジェクト	葉山 久世	45.0	
	7	ゼニタナゴ保全運動(ゼニタナゴシンポジウム)		ゼニタナゴ研究会	北島 淳也	70.0	
8	「(仮題)続 里山の暮らし 土浦市宍塚」の作成	宍塚の自然と歴史の会		及川 ひろみ	100.0		
海外助成	1	中国海南島におけるカワウソ2種の保全生物学的研究	李 玉春	小金澤 正昭	120.0		
	2	インドネシア、パプア州ジャムルスバメディ地域における絶滅に瀕した オサガメ個体群を保護するためのふ化率調査	Akil Yusuf	菅沼 弘行	135.0		
	3	ネパール熱帯域における生物多様性に関する研究	Keshab Shrestha	渡邊 政俊	116.0		

年度	期	助成区分	No.	テーマ	グループ名／申請者名	代表者名 ／推薦者名	助成額 (万円)
2004	15	研究	1	絶滅危惧種ツシマヤマネコの生息地としての森林環境の評価	ツシマヤマネコ研究グループ	伊澤 雅子	100.0
			2	西表島浦内川河口域の生物多様性と伝統的自然資源利用の総合調査	西表島浦内川流域研究会	松本 千枝子	100.0
			3	西表島溪流辺植物群落の成立要因の解明と保全に関する調査研究	西表島溪流植生調査団	星野 義延	70.0
			4	稀少鳥類ナミエヤマガラの基本生態研究:少ない生息数が引き起こす独特な生活史形質	ナミエヤマガラ調査隊	上田 恵介	90.0
			5	屋久島におけるウミガメの個体数把握調査	NPO法人 屋久島うみがめ館	大牟田 一美	100.0
			6	奄美諸島固有種オットンガエルの保全生態学的研究	奄美両生類研究会	岩井 紀子	100.0
		活動	1	市民調査による九折瀬洞に生息する生物の現況と川辺川ダム計画の影響調査活動	九折瀬洞窟調査グループ	中田 裕一	90.0
			2	県指定天然記念物「坂戸神社の森」に関する周辺住民の啓蒙のためのパンフレット作成	「坂戸神社の森」パンフレット刊行会	平田 和弘	90.0
			3	『こんなにすばらしかった、軽井沢の草原-みんなで作るレッドデータブック-』(仮題)の出版と普及	軽井沢サクラソウ会議	今城 治子	50.0
			4	近畿地方におけるタンポポ属の在来種・外来種・雑種の分布調査	タンポポ調査・近畿2005実行委員会	布谷 知夫	80.0
			5	泡瀬干潟における自然環境マップの作成	泡瀬干潟を守る連絡会	前川 盛治	80.0
			6	国内IBA(重要鳥類生息地)パンフレット作成	(財)日本野鳥の会	古南 幸弘	80.0
			7	2004国際湿地シンポジウムin敦賀ラムサール登録・未来への贈りもの-その役割と展望-	日本湿地ネットワーク	辻 淳夫	90.0
			8	沖縄のジュゴン保護のために確保すべき生息環境についてのヒアリング及び文献調査	北限のジュゴンを見守る会	鈴木 雅子	90.0
			9	矢倉干潟保全活動	西淀自然文化協会	山田 忍	60.0
	10		特別天然記念物オオサンショウウオ生息地生物多様調査	真庭遺産研究会	徳永 巧	70.0	
	長期助成	1	北上山地中・北部に残存する中間温帯性自然林の分布と特性	北上山地森林生態系研究グループ	平吹 喜彦	190.0	
		2	北方四島における生態系保全と一次産業の共生に関するモデル形成～北方四島生物圏の持続可能なシステムの構築～	NPO法人 北の海の動物センター	大泰司 紀之	340.0	
		3	栗駒国定公園(山形県内区域)公園計画の立案	神室山系の自然を守る会	海藤 清志	50.0	
	海外助成	1	野生オラウータン生息地における住民参加の森林パトロール活動と動態調査	Yan.S	鈴木 晃	130.0	
2		「野生のアフリカゾウと地域住民の共存から野生動物と人間の未来を考える」サイト立案	中村 千秋	小原 秀雄	130.0		
3		モウコガゼルと家畜の相互関係に関する研究-ガゼルの保護にとっての過放牧の問題点-	Lhagvasuren Badamjav	高槻 成紀	100.0		
4		ブータンのLamperi広葉樹林の、放棄されたワサビ田における在来種の多様性保全	Rebecca Pradhan	親泊 素子	120.0		

年度	期	助成区分	No.	テーマ	グループ名／申請者名	代表者名 ／推薦者名	助成額 (万円)
2005	16	研究	1	過去25年間の日光戦場ヶ原周縁部における植生変化追跡	日光戦場ヶ原植生変化追跡プロジェクト	紺野 康夫	92.0
			2	奄美諸島固有種オットンガエルの保全生態学的研究	奄美両生類研究会	亘 悠哉	86.0
			3	島根県大橋川の汽水環境の保全に関する研究	大橋川の汽水を調べる会	倉田 健悟	100.0
			4	分断景観におけるササの分布拡大が林床草本の種多様性に与える影響	帯広孤立林研究グループ	福嶋 司	100.0
			5	四国におけるアライグマ生息状況把握調査	NPO法人 四国自然史科学研究センター	谷地森 秀二	80.0
			6	放浪種ツヤオオズアリが在来アリ群集に及ぼす影響 ～海洋島における影響評価～	ツヤオオズアリ影響評価グループ	大西 一志	70.0
			7	関東に生息するカワウの年齢構成および若齢個体の分散調査	NPO法人 バードリサーチ カワウプロジェクトチーム	加藤 ななえ	94.0
			8	地域に根ざしたケラマジカの持続的保全－島の子ども達とともに－	ケラマジカリサーチグループ	遠藤 晃	90.0
		活動	1	「坊ガツル」(ラムサール条約新指定地)の自然環境の現況評価と オーバーユース対策	NPO法人 おおいた生物多様性保全センター	足立 高行	60.0
			2	淡水性カメ類(在来種)の保護－都市河川における試み－	和亀保護の会	西堀 智子	48.0
			3	国立公園大山蒜山地域における草原生態系の復元	晴れの国野生生物研究会	谷 幸三	80.0
			4	住民参加型のシン垣遺構調査と現代的意義を考える	シン垣ネットワーク	高橋 春成	65.0
			5	幼児と自然ティーチャーズガイドの作成	幼児と自然ネットワーク	井上 美智子	70.0
			6	仙台産アカヒレタビラ个体群の保護増殖ならびに教育現場との 連携による新規生息地の開発	宮城県淡水魚類研究会	棟方 有宗	91.0
		長期助成	1	中長期開門調査に向けた諫早湾干拓堤防周辺海域の採泥・採水調査	諫早湾保全生態学研究グループ	佐藤 慎一	200.0
			2	南大東島に隔離分布するダイトウコノハズクの鳴き声を用いた 個体識別と個体群動態の解明	ダイトウコノハズク保全研究グループ	高木 昌興	169.0
			3	サンルダム建設が天塩川水系における水環境と水生生物に与える 影響の評価	天塩川の自然を考える会	宮田 修	200.0
		海外助成	1	スマトラ島における現生中大型哺乳類の分布現状およびその 歴史的変遷に関する研究	Amsir Bakar	渡邊 邦夫	120.0
			2	アンデスに生息するプヤ・ライモンディ群落の復元	Mery Luz Suni	増沢 武弘	120.0
			3	中国雲南省亜熱帯地域のMt. Ailao, Mt. Gaoligongにおける湿潤 山地常緑広葉樹原生林の個体群構造、多様性および動態	唐 勤	北澤 哲弥	130.0
			4	スリランカ南東部におけるオスのアジアゾウの行動と被害に 関する研究	Mahinda Rupasinghe	長谷川 寿一	100.0
5	パラオ国ングレドウ保全地区のマングローブ林の調査と普及 啓発活動のための木道の設置		Alma Ridep-Norris	馬場 繁幸	130.0		
6	野生オランウータン生息地における住民参加の森林パトロール 活動と動態調査		Johansyah Nasucha	鈴木 晃	100.0		
7	コンゴ共和国オザラ国立公園北部における野生生物と人間の共存のため の調査研究		萩原 幹子	小林 俊介	105.0		

年度	期	助成区分	No.	テーマ	グループ名／申請者名	代表者名 ／推薦者名	助成額 (万円)
2006	17	研究	1	(継続)島根県大橋川の汽水環境の保全に関する研究	大橋川の汽水を調べる会	倉田 健悟	100.0
			2	風力発電事業における希少猛禽類の影響調査	猛禽類医学研究所チーム(IRB-J) 風力発電調査チーム	齊藤 慶輔	90.0
			3	水田の圃場整備に伴うメダカの地域的絶滅回避に関する保全生物学的研究	岩手大学農村生態系再生研究会	東 淳樹	98.0
			4	(継続)地域に根ざしたケラマジカの持続的保全 —島の子ども達とともに—	ケラマジカリサーチグループ	遠藤 晃	56.0
			5	北海道に生息する希少サケ科魚類イトウの遺伝的構造と絶滅リスク評価	イトウ生態保全研究ネットワーク	江戸 謙顕	109.0
			6	個体識別データベースを活用したゼニガタアザラシの生活史に関する研究	ゼニガタアザラシ 個体識別研究グループ	藪田 慎司	98.0
			7	四国地域におけるチメドリ科外来鳥類の定着実態の解明	四国外来鳥類研究会	佐藤 重穂	75.0
			8	琵琶湖南湖における重要産業種ニゴロブナの生態情報の取得	琵琶湖漁業を考える会	山根 猛	95.0
			9	阿寒国立公園の植生に及ぼすエゾシカの影響と生態系管理に関する研究	阿寒エゾシカ調査会	高嶋 八千代	85.0
			10	宮崎県綾町における市民参加による照葉樹林と針葉樹人工林の 沢環境の比較と地域環境管理への提言	綾の森を世界遺産にする会	林 裕美子	100.0
			11	オオサンショウオの潜在的な生息適地モデルの構築と保護計画への 適用	(社)兵庫県自然保護協会	田口 勇輝	97.0
		活動	1	IBA(Important Bird Area 重要野鳥生息地)保護保全ハンドブック の作成	(財)日本野鳥の会	古南 幸弘	112.0
			2	日本におけるリーフチェック活動10周年報告書の作成	コーラル・ネットワーク	宮本 育昌	76.0
			3	堆砂垣と植生保護を組み入れた海岸砂浜保全活動	NPO法人 表浜ネットワーク 堆砂垣・植生グループ	市野 和夫	40.0
			4	愛知県渥美山塊の猛禽類・哺乳類の生息環境を保全するための調査 と啓蒙活動	渥美自然の会	大羽 康利	60.0
			5	ハッチョウトンボを主とした希少生物の調査と保全活動	新山山野草等保護育成会	北原 重利	50.0
			6	日米カキ礁シンポジウムの開催 「三番瀬とチェサピーク湾カキ礁の比較」	日米カキ礁シンポジウム実行委員会	伊藤 昌尚	105.0
		長期助成	1	都市圏の希少魚類絶滅回避プロジェクト —多々良川のセボシタビラとチクゼンハゼ—	福岡都市圏の生き物を考える会	鬼倉 徳雄	197.0
			2	春子谷地の生物多様性と湿原における生物間相互作用	春子谷地生物相調査グループ	鈴木 まほろ	200.0
			3	ササ型林床のブナ林の更新過程に関する研究	ぶなっこ調査隊	西本 孝	148.0
		海外助成	1	(継続)コンゴ共和国オザラ国立公園北部における野生生物と人間の 共存のための調査研究	萩原 幹子	小林 俊介	100.0
			2	タイにおけるマングローブ植林・保全事業の現状と問題点 —生態系復元に向けて—	池島 耕	佐野 光彦	68.0
			3	東アジア・オーストラリア地域渡り経路を利用する水鳥および シギ・チドリ類の渡りにおけるカムチャツカの重要性	Yuri Gerasimov	柏木 実	112.0
			4	(継続)スマトラ島における現生中大型哺乳類の生息地破壊と その影響に関する調査研究	Rizaldi	渡邊 邦夫	110.0
			5	焼畑移動耕作者定住化政策による焼畑短周期化が植物の多様性と 遷移に及ぼす影響	Mone Nouansyvong	平田 豊	120.0
			6	バングラディッシュにおける屋敷地の植物の多様性と村人の 生活において果たす役割について	Md. Rashedur Rahman	吉野 馨子	34.0

年度	期	助成区分	No.	テーマ	グループ名／申請者名	代表者名 ／推薦者名	助成額 (万円)	
2007	18	研究	1	(継続)有明海再生を目指した諫早湾干拓堤防周辺地域の採泥・採水調査	諫早湾保全生態系学術グループ	佐藤 慎一	76.0	
			2	北海道根釧台地湿原群保全のための湿原植生と発達史の研究	根釧台地湿原群自然史研究会	百原 新	110.0	
			3	(継続)超音波アレキサンダー法を使った琵琶湖の固有亜種ニゴロブナの生態研究	琵琶湖漁業を考える会	山根 猛	100.0	
			4	高山植生の長期モニタリングサイトの設置	山の自然学クラブ	下野 綾子	99.0	
			5	八郎潟干拓地(秋田県大潟村)におけるツツイトモの保全について	秋田自然史研究会 水草グループ	高田 順	77.0	
			6	過栄養湖である宮島沼における冬季湛水水田による水質改善の試み	宮島沼の会	藤巻 裕蔵	60.0	
			7	岐阜県におけるニホンカモシカとニホンジカの種間関係の解明を目的とする緊急調査	岐阜県ニホンカモシカ研究会	鈴木 正嗣	100.0	
			8	大阪地域における蘚苔類・菌類レッドリスト試作のための基礎研究	大阪蘚苔類・菌類レッドリスト研究会	佐久間 大輔	50.0	
		1	多摩川河口の自然を考えるシンポジウム開催	日本野鳥の会神奈川支部	鈴木 茂也	30.0		
		2	赤城山ヒメギフチョウの保全のための緊急対策	赤城姫を愛する集まり	栃木 利夫	60.0		
		3	市民参加による、ジュゴン生息地の海草藻場モニタリング調査	シーグラスウォッチ・ジャパン	河内 直子	85.0		
		4	ヤクタネゴヨウの調査研究・保護増殖・普及啓発活動	屋久島・ヤクタネゴヨウ調査隊	手塚 賢至	90.0		
		5	香川県産ニッポンバラタナゴの系統保全のための保護池造成	かがわたナゴ倶楽部	横井 聡	80.0		
		6	イトウの保護	道東のイトウを守る会	神田 房行	55.0		
		7	日本産絶滅危惧種のための飼育繁殖個体群管理セミナー	CBSG-Japan	羽山 伸一	130.0		
		8	長野県飯田市のハナノキが生息する湿地におけるモニタリングコースの保全	はなのき友の会	北澤 あさ子	23.0		
		9	ツシマヤマネコ交通事故対策チームによる動物交通事故観察活動	ツシマヤマネコ交通事故対策グループ	杉谷 篤志	50.0		
		10	中部山岳国立公園立山地区の自然保護に関する利用者の意識調査	富山県地方自治研究センター環境部会	加藤 輝隆	55.0		
	11	日本語版造礁サンゴ同定マニュアルの作成	沖縄リーフチェック研究会	安部 真理子	70.0			
	12	林床植物の生活史研究を基礎とした低地林保護のための環境教育プログラムの開発	子供達に身近な自然の大切さを伝える会	大原 雅	85.0			
	13	全国在来タナゴ類の保全技術に関するシンポジウムの開催	NPO法人 日本国際湿地保全連合	辻井 達一	70.0			
	14	新規外来生物オオタナゴ拡散防止のための啓蒙活動	土浦の自然を守る会	萩原 富司	60.0			
	15	国指定天然記念物「犬吠埼の白亜紀浅海堆積物」と銚子海岸の植物生態と植物相に関する啓蒙のためのパンフレットの刊行	「銚子の自然保護を知る会」 パンフレット刊行会	鶴岡 繁	80.0			
	16	(継続)堆砂垣と植生保護を組み入れた海岸砂浜保全活動	NPO法人 表浜ネットワーク 堆砂垣・植生グループ	市野 和夫	30.0			
	17	一人々の暮らしと河口及び沿岸域の自然環境のかかわりに注目してー吉野川河口の保全に向けてシンポジウムの開催及び報告書の作成	とくしま自然観察の会	井口 利枝子	65.0			
	18	環境学習としての海藻おしば作りの普及	海藻おしば協会	野田 三千代	60.0			
			長期助成	1	絶滅の危機が迫りつつある西中国山地のツキノワグマ孤立個体群保護に資する研究と教育普及事業	広島フィールドミュージアム	金井塚 務	160.0
				2	兵庫県豊岡市円山川中下流域に生息するコウノトリの採食生態	コウノトリ研究会	武田 広子	150.0
		海外助成	1	ブータンヒマラヤGedu-Drala地域の常緑広葉樹雲霧林における人為的インパクトの評価と生物多様性の保全に関する研究	Pema Wangda	北澤 哲弥	150.0	
			2	ネパールにおける住民のハゲワシ保護意識啓発プロジェクト	Bishnu Prasad Shretha	吉田 修一郎	70.0	
			3	マレーシア・サバ州、クリアス半島のテングザルの保全	Henry Bernard	半谷 吾郎	100.0	
			4	地域スケールアプローチによる次世代の植物学者養成トレーニング	James V. LaFrankie	伊東 明	100.0	
			5	重慶都市域における残存常緑広葉樹林の構造・動態および保全戦略	楊 永川	藤原 道郎	100.0	

年度	期	助成区分	No.	テーマ	グループ名／申請者名	代表者名 ／推薦者名	助成額 (万円)
2008	19	研究	1	マイクロサテライトDNA解析による希少種イトウの遺伝的構造の解明および遺伝的指標を用いた保全策の提言	イトウ生態保全研究ネットワーク	江戸 謙顕	109.0
			2	沖縄島で再発見された絶滅危惧種オキナワトクノスミの保全のための調査	アージ研究会	河内 紀浩	150.0
			3	国内希少種のヤマネコ類と人間の共存にむけた基礎研究 ー人間活動へのヤマネコの生態学的反応ー	琉球大学ヤマネコ生態研究グループ	伊澤 雅子	137.0
			4	霧ヶ峰におけるイタドリ緑化導入個体による地域個体群の遺伝的影響の分析	生物多様性緑化研究会	小林 達明	108.0
			5	三浦半島周辺のカムリウミスズメ保護のための調査	城ヶ島沖の海鳥観察グループ	宮脇 佳郎	100.0
			6	GISを用いたツキノワグマにおける保護管理対策の評価	ツキノワグマ保護管理ネットワーク	山本 俊昭	81.0
			7	北海道に分布する希少種ノサップマルハナバチにおける侵入外来種の影響と遺伝的多様性に関する研究	マルハナバチ保全研究グループ	高橋 純一	105.0
			8	岩手県における水禽および猛禽類の鉛中毒の実態調査	いわて野生動物保護ネット (IWC-net)	高橋 知明	70.0
		1	市民参加による、ジュゴン生息域の海草藻場のモニタリング調査	シーグラスウォッチ・ジャパン	河内 直子	51.0	
		2	長野県安曇野のオオルリシジミ自然個体群の回復のための保護活動	安曇野オオルリシジミ保護対策会議	那須野 雅好	62.0	
		3	研究成果「台風による樹木倒木をとらえて明らかになった軽井沢の本来の自然」の普及活動(出版)	軽井沢自然地理研究会	江川 良武	24.0	
		4	(継続)香川県産ニッポンバラタナゴの系統保存のための保護池造成	かがわたナゴ倶楽部	横井 聡	82.0	
		5	日本の重要野鳥生息地(IBA)普及のための英文ホームページの作成	(財)日本野鳥の会	古南 幸弘	105.0	
		6	長島(山口県熊毛郡上関町)の貴重な自然環境及び生態系についてのガイドブックの作成	長島の自然を守る会	高島 美登里	60.0	
		7	小笠原の固有トンボ類再生・保全のための活動	NPO法人 小笠原クラブ トンボプロジェクトチーム	島田 克己	105.0	
		8	北海道淡水魚保護フォーラム「サクラマス再生をめざして」	北海道淡水魚保護ネットワーク	後藤 晃	39.0	
		9	霧ヶ峰における草原保全活動推進のための啓蒙資料作成と活用	霧ヶ峰ネットワーク	熊田 章子	80.0	
		10	豊かな自然との共存をめざしてこれからの野生鳥獣対策を考える	生物多様性保全ネットワーク新潟	諸橋 潔	32.0	
		11	地域連携による生態学教育プログラム「人と自然と生態学」	岩手生態学ネットワーク	松政 正俊	50.0	
	12	砂浜侵食が進む宮崎県住吉・佐土原海岸の市民調査をもとにした行政への侵食対策の働きかけ	ひむかの砂浜復元ネットワーク	林 裕美子	50.0		
	13	沖縄やんばるにおける森林整備事業の実態調査にもとづく自然保護の普及・啓発	沖縄やんばる 自然環境保全・再生研究会	関根 孝道	80.0		
	長期助成	1	兵庫県但馬地方に生息するニホンザル地域個体群の絶滅防止と軋轢解消	ひょうごWCM研究グループ	鈴木 克哉	200.0	
	2	ニホンジカによる過採食が芦生の冷温帯天然林の生物多様性と生態系機能に及ぼす影響の解明	芦生生物相保全プロジェクト	福島 慶太郎	200.0		
	海外助成	1	ロシア日本海沿岸部におけるクロツラヘラサギ個体群の調査	Yuri Shibaev	藤巻 裕蔵	120.0	
		2	(継続)マレーシア・サバ州、クリアス半島のテングザルの保全	Henry Bernard	半谷 吾郎	80.0	
		3	ロシアのムラヴィオフカ自然保護区における水環境の変化や気候変動がツル類、コウノトリ、並びに湿原生態系におよぼす影響について	Sergei M. Smirenski	百瀬 邦和	100.0	
		4	マレーグマとその森林生息環境の保全に関する東カリマンタンでの地域社会への普及啓発活動	Gabriella M. Fredriksson	山崎 晃司	120.0	
		5	アルゼンチン国パタゴニアカイツブリの繁殖地における個体数と繁殖湖沼の現状調査	佐藤 やよい	多喜代 道德	109.0	

年度	期	助成区分	No.	テーマ	グループ名／申請者名	代表者名 ／推薦者名	助成額 (万円)
2009	20	研究	1	有明海奥部・諫早湾における海底堆積物の変化と諫早湾開拓事業の影響	有明海 環境生態調査・研究プロジェクト	堤 裕昭	95.0
			2	群馬県玉原湿原の保全に関する研究	玉原湿原保全プロジェクト	福嶋 司	95.0
			3	砂防堰堤撤去による溪流植生復元のためのモニタリングおよび回復評価手法の開発	赤谷溪流生態研究会	吉川 正人	66.0
			4	南アルプス高山生態系の保全を目的としたニホンジカの生態学的研究	信州大学ニホンジカ研究チーム	泉山 茂之	196.0
			5	奄美群島における絶滅危惧植物の生育地調査と保全遺伝学的研究	奄美希少生物調査隊	宮本 旬子	100.0
			6	奄美大島におけるイシカワガエル生活史を通じた行動圏と利用環境	奄美両生類研究会	岩井 紀子	111.0
			7	サンバ(<i>Butastur indicus</i>)の狩場環境の創出に向けた草刈りや杭の設置の保全的効果の検証	岩手大学農村生態系再生研究会	東 淳樹	99.0
			8	(継続)三浦半島沿岸のカムリウミスズメ保全のための調査	城ヶ島沖の海鳥観察グループ	宮脇 佳郎	129.0
			9	海洋島における外来アリの分布パターンの経時変化と在来鳥類群集への影響評価	南大東生態系保全グループ	大西 一志	125.0
			10	宝蔵寺沼ムジナモ自生地の生育環境把握と改善のための水質調査	羽生市ムジナモ保存会	中野 忠雄	95.0
			11	国立公園特別保護地区上高地における地形変化と植生動態を許容した自然景観保全に関する基礎研究	上高地自然史研究会	川西 基博	100.0
	活動	1	日本におけるユネスコ「人と生物圏」計画の普及と「生物圏保存地域」の登録・活用	日本MAB計画委員会	酒井 暁子	58.0	
		2	(継続)地域連携による生態学教育プログラム「人と自然と生態学」2	岩手生態学ネットワーク (Ecology in Iwate Network:EINET)	松政 正俊	40.0	
		3	野生動物レスキュー&リハビリ・ボランティア養成	野生動物保護施設ネットワーク	森田 正治	36.0	
		4	普及・啓発・提言事業 湿地の生物多様性 ～ラムサールCOP10からCBD-COP10へ～	ラムサール・ネットワーク日本	浅野 正富	150.0	
		5	野尻湖における水草帯の復元と保全手法に関する検討	野尻湖水草復元委員会	山川 篤行	97.0	
		6	南大東の環境保全のための啓蒙活動	ダイトウコノハズク 保全研究グループ	高木 昌興	87.0	
		7	サハリン石油・ガス開発の環境影響における自然環境・野生生物保護のための調査・提言・啓発活動	国際環境NGO FoE Japan	ランダル ヘルテン	100.0	
	海外助成	1	ネパール、アンナプルナ保護区ムスタン地区におけるユキヒョウ(<i>Uncia uncia</i>)の保護活動	Achyut Aryal	幸島 司郎	100.0	
		2	ロシア・アムール地域のムラヴィオフカ自然保護区内におけるツル類・コウノトリの繁殖地に野火が及ぼす影響を抑制するための、研究に基づいた技術の開発とその実行	Sergei M. Smirenski	百瀬 邦和	106.0	

年度	期	助成区分	No.	テーマ	グループ名／申請者名	代表者名 ／推薦者名	助成額 (万円)
2010	21	研究	1	絶滅危惧種シマフクロウの種保全をめざした個体識別・遺伝的多様性の解析と遺伝子資源保存システムの確立	北方鳥類多様性研究グループ	増田 隆一	119.0
			2	大村湾に生息するスナメリの保全に関する研究	大村湾スナメリ研究グループ	天野 雅男	150.0
			3	南アルプス高山生態系の保全を目的としたニホンジカの生態学的研究	信州大学ニホンジカ研究チーム	泉山 茂之	98.0
			4	(継続) 芦生冷温帯天然林における大規模シカ防除柵設置5年後の生態系機能の回復過程とそのメカニズムに関する研究	芦生生物相保全プロジェクト 生物相保全プロジェクト (ABC project)	福島 慶太郎	150.0
			5	オガサワラオオコウモリの生息状況と海洋島生態系での役割の解明	海洋島オオコウモリ生態研究会	杉田 典正	120.0
			6	奄美大島固有の絶滅危惧種、アマミヒイラギモチの繁殖と更新	奄美大島生態研究会	指村 菜穂子	100.0
			7	栃木県奥日光地域におけるニホンジカの高密度化がネズミ類とその捕食者に与える影響	奥日光シカ研究グループ 野生動物研究グループ	小金澤 正昭	98.0
			8	日本産絶滅危惧水生植物の現状、特に情報の不足する種の実態解明	神戸大学水草グループ	角野 康郎	93.0
			9	利尻島の湿原の生態系保全と自然史教育のための環境史・植生史に関する研究	利尻・礼文自然史研究会	佐藤 雅彦	149.0
		活動	1	伊豆諸島御蔵島・三宅島植生誌編纂	伊豆諸島植生研究グループ	八木 正徳	54.0
			2	(継続) 普及・啓発・提言事業 生物多様性条約とラムサール条約によって保全する湿地の生物多様性	NPO法人 ラムサール・ネットワーク日本	浅野 正富	174.0
			3	調査研究に基づいたこんぶくろ池湿地の植生管理指針策定と環境教育	NPO法人 こんぶくろ池自然の森	森 和成	103.0
			4	(継続) 野生動物の保護と自然の研修	野生動物保護施設ネットワーク	森田 正治	56.0
			5	子供達とともに行う自然環境再生事業を通じた低地林保全活動	子供達に 身近な自然の大切さを伝える会	大原 雅	80.0
			6	北海道淡水魚保護フォーラム「川底からの河川再生」	北海道淡水魚保護ネットワーク	帰山 雅秀	49.0
			7	北陸地方におけるウミガメの調査と保護活動	福井県立大学 ふくいうみがめサークル	田畑 絵理	70.0
		海外助成	1	西南中国雲南省における絶滅危惧種水青樹 (<i>Tetracentron sinense</i>) 個体群の保全に関する研究	唐 勤	富田 瑞樹	108.0
			2	マレーシア熱帯多雨林地域の放棄されたゴム、アカシア単一種植林地の復元生態学的研究	Baki Bakar	奥田 敏統	101.0
			3	ブータンヒマラヤの亜熱帯常緑広葉樹林における標高傾度に沿った遺存性植物種と生育地の保全	Pema Wangda	北澤 哲弥	100.0

年度	期	助成区分	No.	テーマ	グループ名／申請者名	代表者名 ／推薦者名	助成額 (万円)
2011	22	研究	1	有明海再生への第一歩 ー諫早湾長期開門調査前後の水質・底質・底生動物群集変化の解析	諫早湾保全生態学研究グループ	佐藤 慎一	56.0
			2	千葉県で新たに発見された絶滅危惧植物スズカケソウ集団の遺伝的多様性解析と保全	市民・県・大学の三者連帯によるスズカケソウ保全チーム	上原 浩一	130.0
			3	大東諸島の固有生物相を支えるダイオウビロウの保護に関する緊急調査	大東諸島生物相研究グループ	伊澤 雅子	100.0
			4	極東ロシアにおけるシマフクロウ個体群の分布調査と日本産個体群の遺伝的特徴との比較研究(継続)	北方鳥類多様性研究グループ	竹中 健	107.0
			5	周伊勢湾地域の里山に生育する湿地性絶滅危惧植物の景観遺伝科学的解析	里山湿地研究グループ	佐伯 いく代	130.0
			6	対馬の山頂部岩角地にのみ分布するツシマノダケ(セリ科)の保全に関する基礎的調査と対馬集団の分類学的固有性の評価	ツシマノダケ研究会	東 浩司	84.0
			7	主要組織適合複合体(MHC)遺伝子解析による絶滅危惧種イトウの遺伝的構造・多様性の評価及び遺伝的保全指標を含む統合的保全策の提言	イトウ生態保全研究ネットワーク	江戸 謙顕	149.0
			8	ツシマヤマネコと共生する環境配慮型農業の生息環境保全効果および社会経済的効果に関する研究	佐護ヤマネコ稲作研究会	大石 憲一	70.0
			9	房総半島で生じているアライグマによるニホンイシガメへの被害調査	千葉県の野生生物を考える会	小賀野 大一	85.0
			10	伊豆諸島八丈島における外来種ニホントカゲの侵入による在来種オカダトカゲ絶滅リスク評価	島嶼生物学研究会	岡本 卓	65.0
		活動	1	生物多様性のホット・スポット“上関フィールドツアー”	長島の自然を守る会	高島 美登里	100.0
			2	千葉県南部に侵入した特定外来生物ナルトサワギクの海岸侵出防止と駆除	安房生物愛好会 環境部会	小林 洋生	101.0
			3	伊豆諸島新島・式根島・神津島の植生誌編纂(継続)	伊豆諸島植生研究グループ	八木 正徳	51.0
			4	過去の山岳環境の記録としての写真データベースの作成	日本山岳会自然保護委員会	下野 綾子	99.0
			5	海の博物学者になろう～アマチュア博物学者のためのハンドブック作成～	「海岸へ行こう」実行委員会	山本 智子	66.0
			6	伊豆半島南東端の浅海魚類相の変移に関する調査報告書の作成	伊豆の魚を考える会	竹内 直子	32.0
			7	鳥の色から生物多様性の価値を提示する一般市民向けシンポの開催	日本鳥学会企画委員会	三上 修	58.0
		海外助成	1	絶滅危惧種マレーセンザンコウの保全に関する研究	松林 尚志	安田 雅俊	80.0
			2	改変・断片化されたサバ州内の森林での霊長類の分布	Henry Bernard	半谷 吾郎	88.0
			3	ペルーにおけるウミガメ類の危機的な生息域の精査と保護活動	Ximena Velez-Zuazo	菅沼 弘行	80.0
			4	マレー半島の熱帯山地性雲霧林におけるコケ植物の生育立地選択と空間的分布および多様性	楊 建泰	古木 達郎	89.0